

れいわ ねん がつ  
令和7年4月

おおさかしりついくわしょうがっこうこうちょう あおやま まさたけ  
大阪市立育和小学校校長 青山 真丈

## み ん な の や く そ く

いくわしょうがっこう みんな あんしん がっこうせいかつ おく  
育和小学校では皆が安心して学校生活を送ることができるように、また、心と体が健やかに  
そだ 育つように「みんなのやくそく」をつくっています。自分のためにも皆のためにも、きちんと守  
て生活しましょう。

### 1. 登下校

- ① 地区子ども会の班で、きまりを守り集団登校をする。
- ② 見守り隊や地域のみなさん、友だちや先生に元気よくあいさつをする。
- ③ 午前8時10分~8時25分の間に登校する。(8時10分より早く来ないように)
- ④ 3月~10月は午後4時30分まで、11月~2月は午後4時15分までに下校する。
- ⑤ 下校のときも、決められた通学路を通って帰る。

### 2. 服装

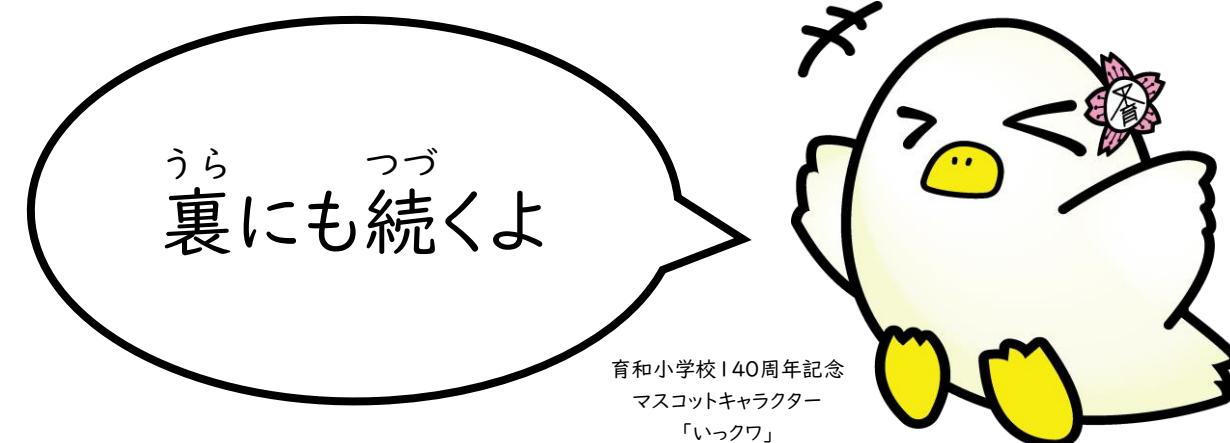
- ① 標準服に黄帽を着用し、左胸に名札をつける。  
  - ・標準服は、紺の上着、白のブラウス(ポロシャツ)、紺のズボン・スカートとする。
  - ・名札は、登下校の間は胸ポケットに入れる。1年生は裏返す。学校に着いたら見えるように出す。名札に飾りはつけない。
  - ・寒いときは、上着の下に紺、黒、グレーのセーター・ベスト・カーディガンを着てもよい。
  - ・上着を着ずに、セーター・ベスト・カーディガンだけで登校しない。
  - ・登下校のみジャンパー・手袋・ネックウォーマーを着用してもよい。(マフラー、耳あてなどは着用しない。フードは被らない)
  - ・11月~3月は、防寒着として、紺、黒、グレーで、ひもなどの装飾のない長ズボン・タイツ・レギンスをはいてもよい。ただし、体育の学習では着用しない。(タイツの場合は、靴下を持って来る。)
- ② アクセサリー(ピアス、ネックレス、ミサンガなど)はつけない。
- ③ 以下の理由から、髪の毛は健康的に保つことを心がけ、染めたり、パーマをかけたりしない。  
  - ・外見を着飾ることに流されず内面の成長を促すため。
  - ・髪や頭皮など体を健康に保つため。
  - ・予期せぬ事態に巻き込まれないため。

### 3. 持ち物

- ① すべての持ち物に名前を書く。
- ② 文房具はできるだけシンプルな物(遊べる要素の無い物)にし、学習の妨げにならない物を選ぶ。
- ③ 学習に必要な物は持って来ない。(学校で集める以外のお金、ゲーム、カード、飾りのキーホルダー、カイロ、お菓子、スマートフォンなど)
- ④ 水とうにお茶や水を入れて持ってきててもよい。友だちにお茶や水をあげたりもらったりしない。
- ⑤ 防犯ブザーは、常に準備しておく。点検をして音が出るか確かめておく。
- ⑥ その他、学習に支障が出た場合は禁止になる場合がある。

### 4. 校内生活

- ① 登校したら下校までは、学校の外には出ない。
- ② 途中で忘れ物を取りに帰らない。
- ③ 朝会や集会のあるときは、早めに運動場や講堂に整列する。
- ④ 教室や講堂の中では上ぐつをはき、教室以外は下ぐつをはく。
- ⑤ チャイムの合図や決められた時刻を守る。
- ⑥ 雨の日は、教室で安全に遊ぶ。
- ⑦ 運動場では、「遊びのやくそく」を守る。
- ⑧ ボールは決められた場所と時間を守って遊ぶ。
- ⑨ 遊具でのおにごっこやボール遊びはしない。
- ⑩ ろうか、階段は走らず右側通行で歩く。



## 5. 校外生活

- ① 交通ルールを必ず守る。
- ② 外出する時は、①いつ②だれと③どこへ④何をしに⑤何時に帰るのかを必ず伝える。
- ③ 暗くならないうちに帰宅する。(季節にもよるが、低学年5時ごろ、高学年6時ごろ。)
- ④ 夜間や人通りの少ない道の一人歩きはしない。
- ⑤ 公園では、他の利用者や周りの住民に迷惑にならないように遊ぶ。
- ⑥ 道路や駐車場、川の近くなど危険な場所では遊ばない。
- ⑦ 危険な遊び(火遊び、道路でのボード類の遊び、エアガンなど)はしない。
- ⑧ 家の人がいないときは、友だちと一緒に家の中で遊ばない。
- ⑨ 子どもだけでスーパー・マーケットやコンビニ、飲食店、校区外(プール、カラオケ、映画館など)に行かない。
- ⑩ お金や物(ゲームなど)の貸し借りや交換、おごり合いはしない。
- ⑪ たくさんのお金を持ち歩かない。
- ⑫ 携帯電話やインターネットを使う時は、家人との約束やルールを守って使う。
- ⑬ 「LINE」や「Tik Tok」など、SNSで自分や他人の個人情報をアップロードしない。
- ⑭ 知らない人に誘われても絶対について行かない。
- ⑮ 路上や公園等で危険な目に会いそうになったら、大声を出したり防犯ブザーを鳴らしたりする。そして、近くの大人や民家、「子ども！」〇番の旗のある家に助けを求め、すぐに家人と警察へ連絡する。